

RYOBI



2006

リョービグループ
環境報告書

ENVIRONMENTAL
ANNUAL
REPORT

「くらしごこち」がテーマです。

CONTENTS

本報告書の対象期間 2005年4月～2006年3月
本報告書の対象範囲 リョービ株式会社
リョービマジックス株式会社・リョービ販売株式会社・リョービミラサカ株式会社
リョービミツギ株式会社・株式会社東京軽合金製作所・生野株式会社
リョービパワーツール株式会社・旭産業株式会社・リョービ開発株式会社
リョービコンピュータビジネス株式会社

ごあいさつ	1
環境方針	
リョービ環境方針	2
リョービグループ環境年表	2
環境管理組織・事業所構成 (ISO14001認証に含まれる事業所)	
環境管理組織(部会)と事業所(リョービ株式会社と国内グループ会社)	4
環境保全委員会の運営組織図(ISO14001推進組織)	6
環境保全	
2005年度 部会別 環境目的・目標の達成度	8
環境保全技術	
ダイカストとは…?	14
ダイカスト製品のライフサイクルアセスメント	14
環境に配慮した商品開発	16
環境に配慮した商品	17
リョービの印刷機器と環境対応	18
環境負荷データ	
2005年度 事業所別(部会別) 環境負荷集計表	19
2005年度 事業所別(部会別) 化学物質に関するデータ	20
環境に関する法規制等遵守の状況	
部会別関係法令等一覧表	21
環境監査	
2005年度 部会別監査不適合の状況	22
社会貢献	
2005年度 部会別社会貢献活動内容一覧	23
社会貢献活動の紹介	24
環境保全のための活動紹介	
グラフィックシステム本部部会の紹介	25
コミュニケーションについて	26
コンプライアンス—健全で活力にみちた企業を築くために—	
コンプライアンス	27
リョービ企業行動憲章	27
決算状況	
連結売上高推移	28
単独売上高推移	28

編集後記

ごあいさつ

当社グループの企業理念は「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」です。

当社グループはダイカスト、印刷機器、パワーツール、建築用品の4つの事業を展開しており、人々のくらしの中にゆとりと豊かさを創造することを使命として、“モノづくり”に取り組んでいます。

地球環境の保護がますます重要視される中で、アルミニウムダイカストは、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れていることから、環境保全に有効な技術としてあらゆる分野から注目されています。また、印刷機器、パワーツール、建築用品の各事業においても、環境に配慮した商品の開発はもとより、生産・販売からお客様がお使いいただくまで、様々なプロセスで環境保全に取り組んでいます。

当社グループは事業活動を通じて発生する環境負荷を低減し、環境を保護することは、重要な経営課題のひとつとして捉え、グループが一体となって推進しています。その母体となっているのが、1990年に国内グループ会社とともに設立した

2006年9月



「リョービ環境保全委員会」と、2004年に設立した「特定非営利活動法人(NPO法人)リョービ社会貢献基金」です。また、環境省が推進している「チーム・マイナス6%」にも参加しています。

当社グループは環境保全、資源保護、省エネルギーならびに社会貢献活動を通じて、真に豊かな社会の実現をめざしています。

また、コンプライアンスの推進、強化に取り組み、社会の信頼にこたえてまいります。

本報告書はこのような活動の一端を掲載しましたので、ご覧ください。

リョービ株式会社

代表取締役会長

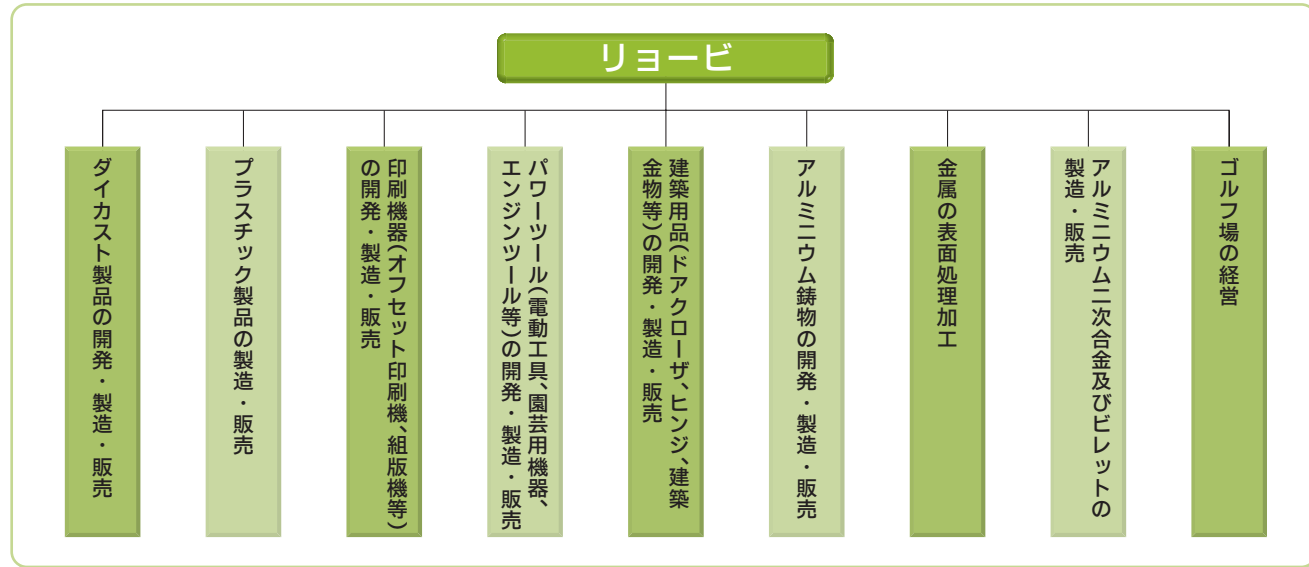
浦上 浩

(リョービ環境保全委員会 統括委員長)

環境方針

■ リョービ環境方針

リョービ※は、以下の事業を行う部門で構成される。



※リョービとは、グループ会社を含めて次の事業所をいう。
 ・リョービ株式会社の本社、東京支社、大阪支店、名古屋営業所、広島東工場、静岡工場、印刷機器工場、府中物流センター、御調第一物流センター、御調第二物流センター。
 ・リョービイマジクス株式会社の本社、東京支店、大阪支店、名古屋支店。
 ・リョービ販売株式会社の本社、中部営業部、名古屋営業所、関東営業部、東京北営業所、関西営業部、高槻営業所。
 ・リョービミラサカ株式会社の本社、リョービミツギ株式会社、株式会社東京軽合金製作所、生野株式会社
 ・リョービパワーツール株式会社、旭産業株式会社、リョービ開発株式会社の庄原カントリークラブ
 ・リョービコンピュータービジネス株式会社

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品及びサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的及び経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定、見直しを行い継続的な改善を図る。
 また、これらの活動を通じて経営計画の達成を図ると共に、社会の発展に貢献する。

- 1 ISO 14001 規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
- 2 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を遵守し、環境汚染を予防する。
- 3 省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
- 4 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防措置に努め、訓練を行う。
- 5 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
- 6 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
- 7 この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

2006年3月23日

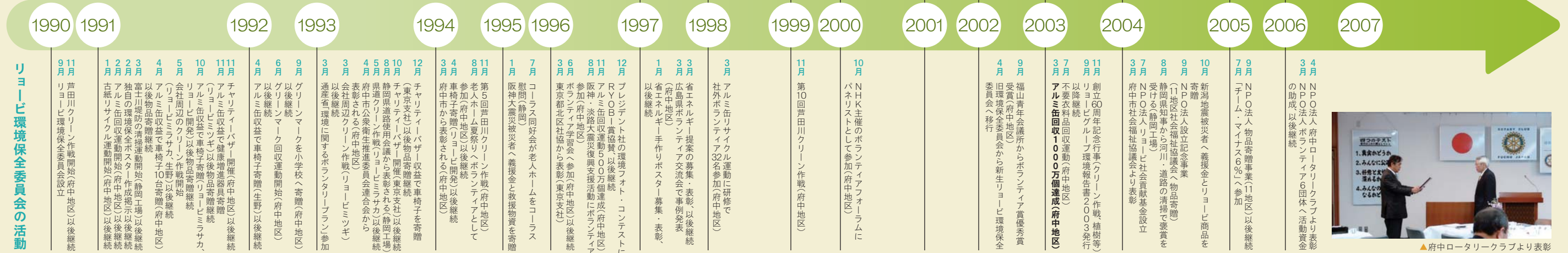
リョービ環境保全委員会

統括副委員長

室家士郎

■ リョービグループ環境年表

環境配慮型商品の開発
ISO 14001 認証取得活動



▲府中ロータリークラブより表彰

環境管理組織・事業所構成 (ISO 14001 認証に含まれる事業所)



環境管理組織(部会)と事業所(リョービ株式会社と国内グループ会社)



▲リョービ株式会社 本社



▲リョービ株式会社 広島東工場



▲リョービ株式会社 印刷機器工場



▲リョービ株式会社 府中物流センター



▲リョービ株式会社 御調第一物流センター

本社部門部会

リョービ株式会社 本社
〒726-8628 広島県府中市目崎町 762

旭産業株式会社
〒726-0033 広島県府中市目崎町 762
保険代理業

リョービコンピュータービジネス株式会社
〒726-0033 広島県府中市目崎町 762
情報処理サービス

ダイカスト本部広島部会

リョービ株式会社 本社
〒726-8628 広島県府中市目崎町 762

リョービ株式会社 広島東工場
〒726-0002 広島県府中市鶴飼町 800 番地の 2

リョービ株式会社 府中物流センター
〒729-3212 広島県府中市阿字町松原 1647

グラフィック システム本部部会

リョービ株式会社 広島東工場
〒726-0002 広島県府中市鶴飼町 800 番地の 2

リョービ株式会社 印刷機器工場
〒726-0023 広島県府中市栗柄町 444 番地の 1

住建機器本部部会

リョービ株式会社 本社
〒726-8628 広島県府中市目崎町 762

建築用品部会

リョービ株式会社 本社
〒726-8628 広島県府中市目崎町 762

リョービ株式会社
御調第一物流センター
〒722-0312 広島県尾道市御調町大字貝ヶ原 694-1


生野部会

生野株式会社
〒679-3311 兵庫県朝来市生野町真弓 580
アルミニウム二次合金地金の製造販売




東京軽合金製作所部会

株式会社東京軽合金製作所
〒361-0021 埼玉県行田市富士見町 1-21-1
アルミニウム鋳物、ダイカスト製品の製造販売




東京部会

リョービ株式会社 東京支社
〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8


リョービイマジクス株式会社
〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8
印刷機器および関連商品の販売

リョービ販売株式会社
〒114-0003 東京都北区豊島 5-2-8
電動工具、園芸用機器等の販売



ダイカスト本部静岡部会

リョービ株式会社 静岡工場
〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原 5215 番地の 1
ダイカスト製品の製造




名古屋部会

リョービ株式会社 名古屋営業所
〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1

リョービイマジクス株式会社
〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1
印刷機器および関連商品の販売

リョービ販売株式会社
〒468-8512 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1
電動工具、園芸用機器等の販売




大阪部会

リョービ株式会社 大阪支店
〒569-1135 大阪府高槻市今城町 24 番 12 号

リョービイマジクス株式会社
〒569-1135 大阪府高槻市今城町 24 番 12 号
印刷機器および関連商品の販売

リョービ販売株式会社
〒569-1135 大阪府高槻市今城町 24 番 12 号
電動工具、園芸用機器等の販売




リョービミラサカ部会

リョービミラサカ株式会社
〒729-4307 広島県三次市三良坂町皆瀬 75
ダイカスト製品の製造



リョービミツギ部会

リョービミツギ株式会社
〒722-0353 広島県尾道市御調町大字高尾 200
ダイカスト製品の製造

リョービ株式会社
御調第二物流センター
〒722-0353 広島県尾道市御調町大字高尾 200



リョービパワーツール部会

リョービパワーツール株式会社
〒722-1112 広島県世羅郡世羅町大字本郷 52
電動工具、園芸用機器の製造



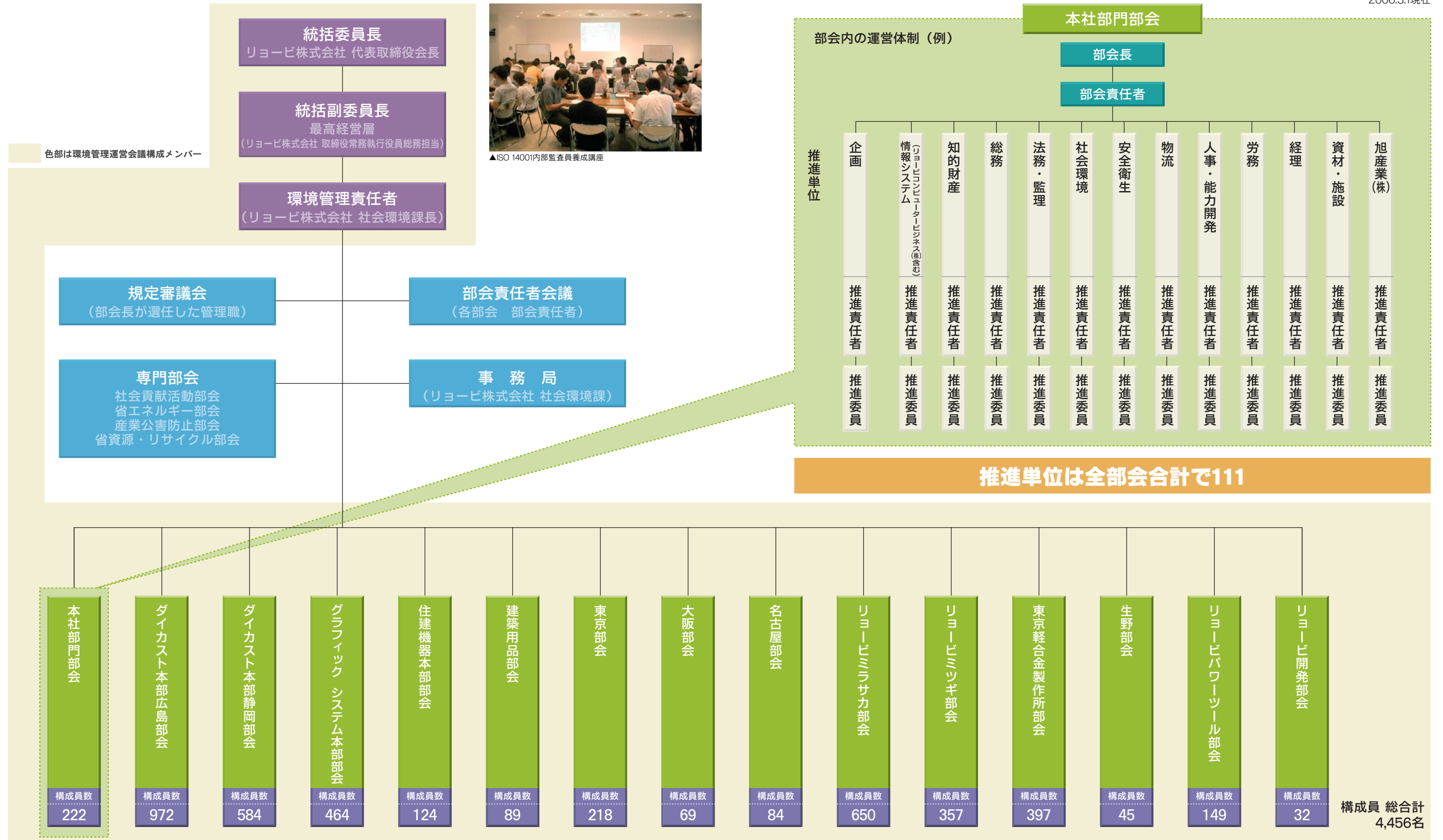
リョービ開発部会
(庄原カントリークラブ)

リョービ開発株式会社
〒727-0014 広島県庄原市板橋町 600
ゴルフ場の経営



■ 環境保全委員会の運営組織図 (ISO 14001推進組織)

2006.3.1現在





2005 年度 部会別 環境目的・目標の達成度

	項目	目的	目標	達成度
■ 本社部門部会	1. 経営計画達成のための項目 -1	中期経営計画、部課の方針・目標等を達成する。	中期経営計画等から選んだ項目の目的を達成する。	✖
	2. 経営計画達成のための項目 -2	中期経営計画、部課の方針・目標等を達成する。	中期経営計画等から選んだ項目の目的を達成する。	✖
	3. 社会貢献	公共河川の美化に努める。資源のリサイクルを通じ、資源保護に努める。	環境保全委員会事務局の計画する芦田川クリーン作戦、アルミ缶の回収運動等へ積極的に参加する。	—
	4. 法令及びその他の要求事項の遵守 (コンプライアンスの推進)	環境法規制及びその他の要求事項を遵守し、汚染を防止する。	リヨービ全体での遵守状況を定期的に評価し、不適合ゼロを達成する。	—
■ ダイカスト本部広島部会	1. 経営計画達成のための項目	品質目標計画推進表による。(各部署 2 項目以上実施)		✖
	2. 省資源	天然資源保護のため、主材料や搬送用及び梱包用材料の購入量を '06 年 3 月までに、'99 年度実績に比べ 13%削減する。(原単位にて)	材料のリサイクルや効率的活用を推進し、購入量を '06 年 3 月までに、'99 年度実績に比べ 13%削減する。(原単位にて)	○
	3. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力と灯油及び重油の使用量を '06 年 3 月までに、'02 年度実績に比べ現状維持～3%削減する。(原単位にて)	設備や使用機器のムダを排除し、効率的活用を推進し、'06 年 3 月までに、'02 年度実績に比べ現状維持～3%削減する。(原単位にて)	×
	4. 水質、大気及び土壌汚染の防止	水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(切削油、作動油、潤滑油、溶剤等)の使用量を '06 年 3 月までに、'99 年度実績に比べ 8%削減する。(原単位にて)	液体保管物の液モレやコボレを排除し、効率的活用を推進する。その使用量を '06 年 3 月までに、'99 年度実績に比べ 8%削減する。(原単位にて)	○
	5. 環境関連有資格者の養成	環境関連有資格者の不足資格の補充を計画・実施する。		○
	6. 化学物質の管理強化	自部署で使用している環境管理物質を把握し、削減(廃止)を計画・実施する。		—
	7. 社会貢献	環境保全委員会事務局の計画に参加する。	アルミ缶回収実績及び芦田川クリーン作戦の参加実績を '04 年度実績に比べ 5%アップする。	—
■ ダイカスト本部静岡部会	1. 経営計画達成のための項目	経営計画達成のため、'06 年 3 月までに各課の「'06 年 3 月期品質目標計画推進表」を達成する。	各課の「'06 年 3 月期品質目標計画推進表」を達成する。	✖
	2. 省資源	天然資源保護のため、燃料(A 重油、LPG)の使用量を '99 年度を基準に '06 年 3 月までに 6%下げる。	燃料の使用管理、改善により、A 重油、LPG(バルク)の使用量を '99 年度を基準に '06 年 3 月までに 6%下げる。(原単位=燃料使用量(原油換算)/生産量)	×
	3. 省エネルギー	電力エネルギー有効利用のため、使用量節約を啓蒙し、電気使用量を '98 年～'03 年の使用量の平均を基準に、'06 年 3 月までに 2%下げる。	電気の使用管理、改善により、工場電気使用量を '98 年～'03 年の使用量の平均を基準に、'06 年 3 月までに 2%下げる。(原単位=電気使用量/生産量)	×
	4. 水質、大気及び土壌汚染の防止	水質、土壌汚染防止のため、汚泥発生量を '02 年度を基準に '06 年 3 月までに 10%削減する。	作動油、冷却水の漏れ防止対策を行い、汚泥発生量を '02 年実績を基準に '06 年 3 月までに 10%削減する。汚泥：(原単位=汚泥発生量/生産量)	×
	5. リサイクル率の向上	環境汚染軽減の為、産業廃棄物のリサイクル率を '04 年度を基準に '06 年 3 月までに 2%上げる。	産業廃棄物処理方法の検討及び分別の強化を図り、産業廃棄物のリサイクル率を '05 年度を基準に '06 年 3 月までに 2%上げる。リサイクル率：(リサイクル重量/産業廃棄物総重量)	×
	6. 環境に関する人材育成	環境関連に関する人材を計画的に育成することにより、法に準じた環境活動を行う。 ①エネルギー管理者(熱・電気) 各 1 名 ②公害防止管理者(大気・水質・騒音・振動・ダイオキシン) 各 1 名 ③危険物取扱主任者(乙種第 4 類) 6 名 ④環境関連法規に関する人材の育成 ⑤化学物質の取扱及び管理強化・二酸化炭素削減、現状把握と教育	環境関連の有資格者を養成する。 ①エネルギー管理者(熱・電気) 各 1 名 ②公害防止管理者(大気・水質) 各 1 名 ③危険物取扱主任者(乙種第 4 類) 3 名 ④環境関連法規についての教育実施 ⑤MSDS(製品安全データシート)に関する教育の実施と二酸化炭素削減に関する教育の実施と排出量の現状把握	—
	7. 社会貢献	環境保全活動を通じて、社会に貢献する。	フィランソロビーの定期的実施 工場周辺の清掃活動を行う。	○

○：充分達成できた —：ほぼ達成できた ×：未達成
評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。

	項目	目的	目標	達成度
■ グラフィックシステム本部部会	1. 経営計画達成のための項目	環境に配慮した開発・製造・販売を行う。	各課の「中期経営計画」、「プロジェクト計画」等を達成する。	✖
	2. 省エネルギー	広島東工場は、第二種エネルギー管理指定工場であり、省エネルギー法を遵守する。	省エネルギー法の要求事項である、原単位 1%削減(対前年比)を遵守する。	—
		電力、ガス、灯油等の使用による CO ₂ 排出量の教育及び監視を行う。	電力、ガス、灯油等の使用による CO ₂ 排出量算出の仕組み、データ取りを行う。	—
	3. 水質、大気及び土壌汚染の防止	水質、土壌汚染防止のために、液体保管物(切削油、溶剤、廃液等)の管理を維持する。	・液体保管物(切削油、溶剤、廃液等)の保管量及び排出の管理を維持する。 ・廃棄物の分別を維持する。	○
4. 社会貢献活動	環境保全に向けた社員の意識高揚を図るために、河川の清掃活動、アルミ缶回収等を推進する。	・環境保全委員会事務局の計画する芦田川クリーン作戦、アルミ缶回収活動等に積極的に参加し、活動のレベルを上げる。 ・芦田川クリーン作戦：参加人数 10%アップ(対前年比) ・アルミ缶回収：参加率 10%アップ(対前年比)	○	
■ 住建機器本部部会	1. 経営計画達成のための項目 -1	中期経営計画、部課の方針・目標等を達成する。	中期経営計画等から選んだ項目の方針・目標等を達成する。	✖
	2. 経営計画達成のための項目 -2	中期経営計画、部課の方針・目標等を達成する。	中期経営計画等から選んだ項目の方針・目標等を達成する。	✖
	3. 環境汚染防止のための項目	環境汚染防止のため電動工具部品、材料に関し環境汚染につながらない材料の使用に努める。	環境に優しい材料の使用を促進する。電動工具に適用される欧州 RoHS 指令に対応する。('06 年 7 月から適用)	○
	4. 社会貢献	環境保全に向けた社員の意識高揚を図るために河川の清掃活動、アルミ缶回収等を推進する。	環境保全委員会事務局の計画する芦田川クリーン作戦、アルミ缶の回収活動、チャリティーバザー等へ積極的に参加する。	○
■ 建築用品部会	1. 経営計画達成のための項目	各課の「中期経営計画」を達成する。	各課の「中期経営計画」の「品質目標」、「プロジェクト計画」等を達成する。	✖
	2. 廃棄物のリサイクル率アップ	廃棄物のリサイクル率をアップする。	リサイクル率アップについての検討を進める。(現状のリサイクル率の把握は引き続き行う)	○
	3. 大気汚染防止	重油使用量による CO ₂ 排出量の削減	重油使用量による CO ₂ 排出量 '04 年度実績に対して 1%削減する。	○
	4. 水質、土壌汚染の防止	化学物質の管理強化	保管量及び排出量の管理を強化する。(削減についての検討を進める)	○
	5. 環境関連の有資格者の計画的育成	環境関連有資格者を計画的に育成する。	環境関連の有資格者育成計画に基づき実施する。	—
	6. 社会貢献	環境保全活動を通じて社会の発展に貢献する。	貢献活動としてアルミ缶の回収等を実施する。	×

○：充分達成できた —：ほぼ達成できた ×：未達成
評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。



項目	目的	目標	達成度	
■東京部会	1. 経営計画達成のための項目	「中期経営計画」、「部・課の方針・目標」を達成する。	中期経営計画等から2項目を選択し、その目的を達成する。	※
	2. 廃棄物のリサイクル率アップ	大気汚染を軽減するため、一般廃棄物(焼却ゴミ)排出量を削減し、リサイクル率をアップする。	焼却ゴミの分別収集を強化し、リサイクル率を'06年3月までに、'03年度実績比で3%アップする。	○
	3. 省資源	森林保護のため、コピー用紙使用量を削減する。	コピー用紙使用量を'06年3月までに、'03年度実績比で5%削減する。	×
	4. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力の使用量を'削減する。	エアコン、照明器具、OA機器等の操作方法、管理方法、省エネルギーを再検討する。電力の使用量を、'06年3月までに'03年度実績比で3%削減する。	×
	5. 大気、水質及び土壌汚染	地球温暖化防止のため、温室効果ガス(CO ₂)の削減をはかる。	アイドリングストップ、経済速度を意識した運転を行う。	—
		水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(廃油、廃液等)の管理体制を強化する。	ウェスの使用量を'06年3月までに、'03年度実績比で5%削減する。	○
	6. 教育	東京部会に適用される環境関連法規について、構成員の意識及び知識の向上をはかる。	資料の回覧及び勉強会を実施する。(1回/年)	—
7. 社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。	目に見える社会貢献活動を企画・立案し実行する。	○	
■大阪部会	1. 経営計画達成のための項目	中期経営計画を達成する。	中期経営計画等から選んだ2項目以上の目的を達成する。	※
	2. 廃棄物の削減	大気汚染を軽減するため、一般廃棄物(焼却ゴミ)排出量を削減する。	ゴミの分別収集を強化することで、'06年3月までに、'04年度実績比で2%削減する。	○
	3. 省資源	森林保護のため、コピー用紙使用量を削減する。	コピー用紙使用量を'06年3月までに、'04年度実績比で1%削減する。	○
	4. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力の使用量を'削減する。	エアコン、照明器具、OA機器等の操作方法、管理方法、省エネルギーを徹底し、定着を図る。電力の使用量を'06年3月までに、'04年度実績比で1%削減する。	×
	5. 水質、大気及び土壌汚染の防止	地球温暖化防止のため、温室効果ガス(CO ₂)の削減をはかる。	アイドリングストップ、経済速度を意識した運転を行い、'04年度燃費実績(1L当りの走行距離)を1%向上させる。	○
		水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(廃油・廃液等)の管理を強化する。	液体保管物の計測、調査を月1回行う。	○
	6. 教育	大阪部会構成員の知識向上のため、環境関連法規等の勉強会を行う。	勉強会を行う。(年1回)	○
7. 社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。	東駐車場の草刈りと清掃を行い、周辺環境への悪影響を及ぼすことを防ぐ。(年1回)	○	
■名古屋部会	1. 経営計画達成のための項目	中期経営計画を達成する。	「中期経営計画」から選んだ項目を達成する。	※
	2. 廃棄物のリサイクル率アップ	環境汚染防止のため廃棄物のリサイクル率を'07年3月までに、'04年度実績比で3%アップする。	廃棄物のリサイクル率を'06年3月までに、'04年度実績比で2%アップする。	○
	3. 大気汚染の防止	大気汚染防止のため、温室効果ガス(CO ₂)の削減を行う。	電力の使用量を'06年3月までに、'04年度実績に対し維持又は、削減する。	×
			アイドリングストップ、経済走行を意識した運転を行い、走行距離及び燃料使用量を管理し、燃費の向上に努める。	○
	4. 水質及び土壌汚染の防止	水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(廃油、廃液等)の管理体制を強化する。	液体保管物の管理を強化する。	○
5. 社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。	会社周辺道路の歩道の清掃を行い、美化に努める。(2回/年)	○	

○：充分達成できた —：ほぼ達成できた ×：未達成
 評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。

項目	目的	目標	達成度	
■リョービミラサカ部会	1. 経営計画達成のための項目	各課の「TPM 目標記述書」の項目を達成する。	※	
	2. 廃棄物の削減	環境汚染軽減の為、産業廃棄物の削減とリサイクル率を向上する。	排出物の分別、リサイクルを強化・推進することで廃棄物の排出量を前年度比1%削減する。	○
			廃棄物のリサイクル率を前年度比2%向上する(処理重量)	○
	3. 省資源	天然資源保護・環境保護の為、グリーン購入調達の拡大を図る。	グリーン購入調達を推進し、購入金額を前年度比2%増加する。	—
	4. 省エネルギー	天然資源保護の為、電力、重油の使用量を削減を目指し、'06年3月までに、'03年3月期比3%削減する(原単位)。	使用機器、設備の操作・管理方法を改善し、前年度比1%削減する(原単位)。	○
			電力・重油等の使用による二酸化炭素(CO ₂)排出量についての教育及び監視を行い、排出量を削減する。	CO ₂ 排出量について前年度比1%削減する。
5. 環境に関する人材育成	環境関係法令に準じた人材を計画的に育成し、効率的に環境保全活動を行う。	必要資格者を把握し、各年の教育訓練計画へ織込み、育成を実施する。(エネルギー管理者・水道技術管理者・危険物取扱者・電気主任技術者・公害防止管理者等)	—	
6. 社会貢献	環境保全活動を通して地域社会に貢献する。	工場周辺の県道クリーン作戦を2回/年実施する。アルミ缶回収により福祉機材の購入費確保を継続する。	○	
■リョービミツギ部会	1. 経営計画達成	各課の「中期経営計画」を達成する。	各課の「MBO」「品質改善計画」「チョコ停低減活動」等を達成する。(各部署2項目以上実施)	※
	2. 廃棄物の削減(リサイクル率アップ)	大気汚染を軽減するため、焼却廃棄物(木製パレット、梱包材等)を'06年3月までに、'02年度比3%削減する(原単位)。	廃棄物の分別、リサイクルを強化・推進することで廃棄物を'06年3月までに、'02年度比3%削減する。'06年3月までに、現状のリサイクル率を前年度比1%向上する。(原単位)	○
	3. 省資源	天然資源保護のため、主材料の購入量を'06年3月までに、'00年度比8%削減する(原単位)。	材料の見直しを行い主材料を'06年3月までに、'00年度比8%削減する。(原単位)	○
	4. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力・重油とガスの使用量を削減を目指し、'06年3月までに、前年度比1%削減する(原単位)。	使用機器、備品の操作、管理方法を再検討、改善し、'06年3月までに、'04年度比1%削減する。(重油・電力・ガス削減によるCO ₂ 削減を含む)(原単位)	○
	5. 水質、大気及び土壌汚染の防止	水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(切削油、作動油、潤滑油、離型剤等)の使用量を'06年3月までに、'00年度比15%削減する(原単位)。	液体保管物の管理方法を設定してその定着を図る。'06年3月までに、'00年度比15%削減する。(原単位)	—
	6. 環境関連有資格者の計画的養成	環境関連有資格者の不足人員の補充。	必要人員を把握し、各年の教育訓練計画にて実施。	○
	7. 社会貢献	環境美化運動・アルミ缶回収を推進する。	年2回会社周辺クリーン作戦実施。(6月・9月)アルミ缶回収 1回/月。	○

○：充分達成できた —：ほぼ達成できた ×：未達成
 評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。



省エネ活動
 ・ムダな照明の削減
 (窓際照明の閉引き・昼休憩時の消灯・誰もいない部分の消灯)
 ・電気の切り忘れ撲滅



項目	目的	目標	達成度
■東京軽合金製作所部会	1. 経営計画達成のための項目	中期経営計画、部課の方針・目標等を達成する。	中期経営計画、方針管理等から選んだ2項目以上の目的を達成する。 ※
	2. 廃棄物の削減	廃棄物のリサイクル化推進。	廃棄物の種類・性質等に応じたリサイクル化の検討および推進。 ○
	3. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力、重油、ガスの使用量を'08年3月までに、'01年度実績比で3%削減する。(原単位にて)	電力、重油、ガスの使用量を'08年3月までに、'01年度実績比、原単位で3%削減する。(原単位にて) ○ 二酸化炭素(CO ₂)を'08年3月までに、'01年度比2%削減する。 ○
	4. 水質汚染の防止	水質汚染防止のため、工場排水の水質管理を強化する。	排水管理手順による排水水質の自主基準値内管理の強化。 ○
	5. 大気汚染の防止	大気汚染防止のための活動推進を行う。	アイドリングストップの社員の遵守化、及び仕入先、出入り業者へ呼びかけ依頼。 —
	6. 環境保全	環境保全の強化。	化学物質の削減化と管理の強化。環境関連有資格者の養成と、環境関連(含法規)教育の計画的実施。 —
	7. 社会貢献	アルミ缶回収による貢献。社会貢献活動。	アルミ缶回収による社会貢献実施。地域社会への社会貢献活動。 ○
■生野部会	1. 経営計画達成のための項目	「中期経営計画」を達成する。	中期経営計画等から選んだ2項目の目的を達成する。 ※
	2. 省資源	天然資源保護のため、主材料の溶解歩留を'07年3月までに、'03年度実績に比べ0.3%向上させる。(計算値比で)	溶解方法や灰絞りのやり方の見直し、また灰置場からのアルミ回収を記録する等の方法で歩留を'06年3月までに、'03年度実績に比べ0.2%向上させる。(計算値比で) ○
	3. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力とA重油、再生油、灯油・軽油の使用量を'07年3月までに、'03年度実績に比べ3%削減する。(原単位にて)	使用機器の効果的活用や改善を検討し、'06年3月までに、'03年度実績に比べ2%削減する。(原単位にて) —
	4. 水質、大気及び土壌汚染の防止	水質汚濁防止のため、液体保管物(重油、再生油、灯油、作動油、潤滑油等)の管理を強化する。	MSDSに関する教育の実施とCO ₂ 削減に関する現状調査を行う。 ○
	5. 環境に関する人材の育成	環境関連有資格者の養成を計画的に行う。	危険物取扱主任者(乙種第四類)1名を養成する。 ○
	6. 社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。	アルミ缶を回収し、その利益で福祉に寄与する。 ○

○: 充分達成できた —: ほぼ達成できた ×: 未達成
評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。

項目	目的	目標	達成度
■リョービパワーツール部会	1. 経営計画達成のための項目	各グループの品質目標を達成する。	品質目標の達成。 ※
	2. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力等の使用量節約を啓蒙し、'06年3月までに、前年実績を維持又は削減する。	使用機器の管理方法を再検討し、その定着を図る。'06年3月までに、前年実績を維持又は削減する。 —
	3. 廃棄物のリサイクル率のアップ	環境汚染防止のため、産業廃棄物のリサイクル率をアップする。	'06年3月までに、廃棄物のリサイクル率の実績を作る。 —
	4. 水質、大気及び土壌汚染の防止、改善	水質、土壌汚染防止のため、液体保管物(切削油、作動油、潤滑油等)の管理を維持し、改善を図る。	保管物(切削油、作動油、潤滑油等)の保管量及び排出の管理を維持する。 ・化学物質や含有するものの管理を強化する。 ・温室効果ガスに関する教育の実施。 ・CO ₂ の排出量の監視を行う。 ○
	5. 社会貢献	環境保全活動を通じて社会の発展に貢献する。	具体的な貢献活動を立案し、実施する。 ○
■リョービ開発部会	1. 経営計画達成のための項目	中期経営計画を達成。	・'06年3月期中期経営計画の達成を目指す。 ・ISO活動を通じて、経費の削減を図る。 ※
	2. 資源保護	松食い虫防除のため早期伐採をし、枯死率を'07年3月までに、'03年度実績比で6%削減する。	枯死率を'06年3月までに、'03年度実績比で4%削減する。 ○
		廃棄物のリサイクル率を'07年3月までに、'04年度実績比で6%アップする。	廃棄物のリサイクル率を'06年3月までに、'04年度実績比で4%アップする。 ○
	3. 省エネルギー	天然資源保護のため、電力の使用量を'07年3月までに、'03年度実績比(原単位)で3%削減する。(電力原単位=電力使用量/入場者数)	・冷暖房機器、照明機器、OA機器等の使用管理を徹底し、こまめな節電(温度調節、消灯等)を実施する。 ・電力の使用量を'06年3月までに、'03年度実績比(原単位)で2%削減する。 ×
		天然資源保護のため、重油の使用量を'07年3月までに、'03年度実績比(原単位)で3%削減する。(重油原単位=重油使用量/入場者数)	重油の使用量を'06年3月までに、'03年度実績比(原単位)で2%削減する。 ○
	4. 水質汚濁の防止	薬剤の使用量を'07年3月までに、'03年度実績比で6%削減する。	サッチの除去等を適宜実施し、薬剤の使用量を'06年3月までに、'03年度実績比で4%削減する。(予防管理から治療管理への移行) ○
5. 環境関連法規に関する教育	当部会に適用される環境関連法規について、社員全員が理解する。	当部会に関する環境関連法規について、計画的に勉強する。 ○	
6. 社会貢献	環境保全活動を通じて地域社会に貢献する。	地域に密着したゴルフ場を目指し、具体的な項目を立案し推進する。 ○	

○: 充分達成できた —: ほぼ達成できた ×: 未達成
評価欄の※印は「中期経営計画」の内から環境問題に近いものをそれぞれの部署が選んで登録し、特別に管理するといった項目で、一概に評価できないものです。

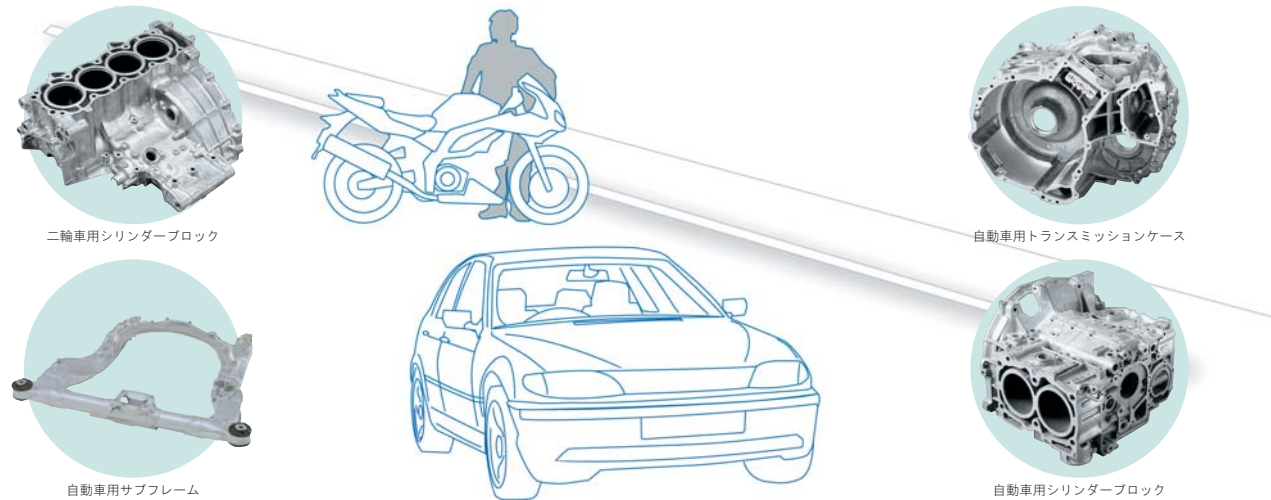
環境保全技術

リョービの連結売上の60%以上がダイカスト製品。
まず、ダイカスト製品のライフサイクルアセスメントへの取り組みを紹介します。

■ダイカストとは…？

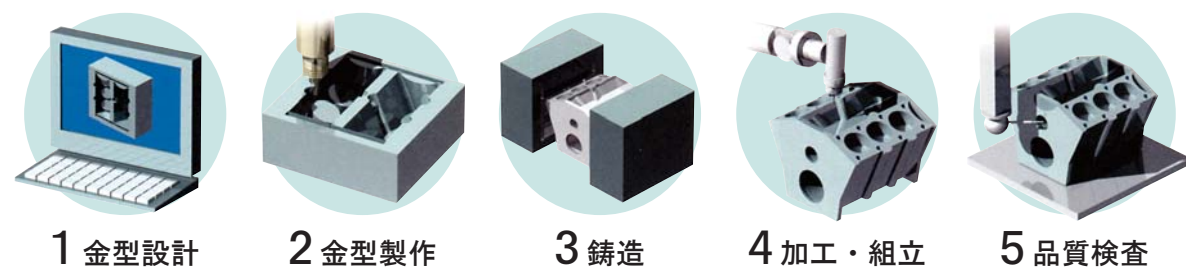
ダイカストは、精密な金型に、溶かしたアルミニウム、マグネシウム、亜鉛など非鉄金属の合金を高速・高圧で注入し、瞬時に成形する技術および製品のことをいいます。
ダイカストは、高い寸法精度が得られ、薄い肉厚で複雑な形状の製品を大量に生産することができます。
このような優れた特徴をもつダイカスト製品は、自動

車やオートバイをはじめ、家電、OA機器、建築用品などさまざまな分野の構成部品として使われています。また、ダイカスト製品の中でも特にアルミニウムダイカストは、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れており、省エネルギー、省資源など環境保全に有効な技術として注目されています。



■ダイカスト製品のライフサイクルアセスメント

リョービは、コンピューターを駆使した解析から金型の設計・製作、鋳造、加工、組立にいたるまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。



◆その一貫体制での各プロセスにおける環境アセスメントとして

設計段階における製品アセスメント

ダイカスト製品及びダイカスト金型に関し、リョービ環境方針に添った製品・金型によって生じる環境への負荷を低減させることを目的に、設計段階で環境側面の評価を行っています。

- 製品について
材質・形状・軽量化(除肉)・VA/VE・有害物質の有無
- 金型について
ホルダーの軽量化、規格品、遊休品の利用、リサイクルの容易な材料、特殊金型表面処理の指示などの検討をしています。

次世代油性離型剤とその少量塗布方法の開発

平成16年度
日本ダイカスト協会より「小野田賞」を受賞

水溶性離型剤使用時には、汚水槽に流れ出す乳化した油分の処理が必要です。開発した油性離型剤とその少量塗布方法により、汚水槽に流れ出す油分はほとんど無く、

排水処理にかかるコスト削減も期待できます。離型剤の原液使用量も水溶性の約1/12.5となります。

目的

油性離型剤の優れた性能を生かす。
安全性、環境性を考慮する。

高性能油性離型剤
↓
極少量塗布技術

- 水分の品質への悪影響の軽減
- 金型温度の設定範囲の自由度拡張
- 温度振幅による熱応力軽減
- 生産性の向上、品質の向上

油性離型剤の特徴

環境改善への貢献

水溶性離型剤の付着効率は低いため、油分の大半は、水分に乳化したまま、飛散、もしくは汚水槽に流れることになる。

今回開発の油性離型剤の場合、基油は大気中に気化するもの、その量は微量。
また、主成分の30~50%は金型に付着するため、汚水槽へ流れ出す油分はほとんど無い。

油性離型剤の特徴

環境改善への貢献

金型へ付着
汚水槽へ

水溶性離型剤: 離型剤のスプレー量は1/100以下

油性離型剤: 大半は流れて汚水槽へ、一部は、気化して大気中へ

水溶性離型剤: 乳化して大気中へ

少量塗布方法の開発

塗布システムの全体

トリガー信号 → マニホールド → ミキシングエア → ミキシングノズル

油性離型剤 減圧送付ユニット

少量塗布方法の開発

0.01mlレベルの少量塗布を実現するためには、0.01~0.1MPa程度の安定した減圧送付が必要。

タンク → 電磁ポンプ → プレッシャースイッチ → サージタンク → 電磁ポンプ → 減圧弁 → ミキシングノズル

量産への導入事例

350tピストンフォワードクラッチ生産

離型剤塗布量の改善
水溶性離型剤 400ml/shot
油性離型剤 1ml/shot

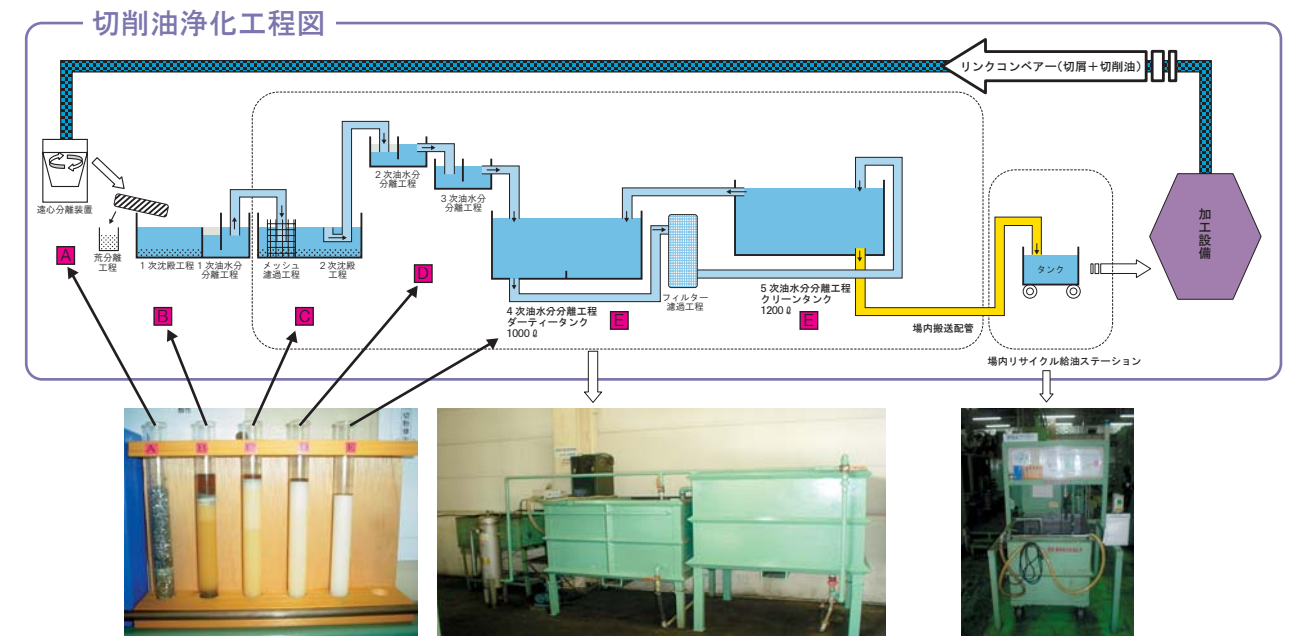
精密ノズルにて金型に塗布する量は1ショット当たり、わずか1ml。

さらに、
水溶性離型剤を使用する場合、金型に付着した油分は水分を除去するためにエアブローを行うが、油性離型剤では、除去すべき水分が無いので、必要なくなった。

加工工程での切削油の再利用

加工工程では、切粉に多くの切削油が付着します。この付着した切削油を、捨てるのではなく、浄化設備で再生し、リサイクル使用しています。

このリサイクルの仕組みにより、廃油(産業廃棄物)の削減と、切削油原液使用量の削減を行うことが出来ました。



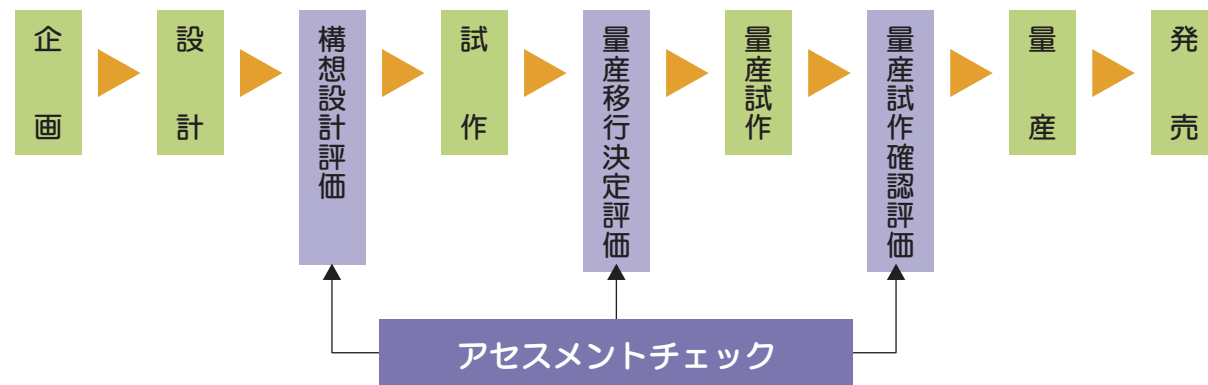


■環境に配慮した商品開発

3R (Reduce・Reuse・Recycle) に着目した商品の開発設計

商品を開発設計する際には、環境負荷の低減を重要な要素のひとつにしています。これを製品アセスメント基準に織り込み、3つの評価段階で適合性をチェックしています。既存品については設計変更時に同様の視点で見直します。

▼開発から発売までのフロー例



3R

循環型経済社会にしていくためには、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させなければなりません。そのためには、第一に発生抑制、第二に再使用、第三に再生利用、第四に熱回収、最後に適正処分という位置付けが重要です。つまり、3Rを中心とした取り組みが必要不可欠です。

- Reduce(リデュース)**
長寿命化などにより廃棄物にならないようにする。
- Reuse(リユース)**
使用済のモノに手を加え、再使用する。
- Recycle(リサイクル)**
使用済のモノを原材料またはエネルギー源として再利用する。

▼製品アセスメント基準の環境関連項目例〈パワーツール〉

1 材料の選定段階

- ・使用素材の種類は現状より増えていないか
- ・リサイクルの容易な素材を使用しているか など

2 加工・組立段階

- ・部品点数は現行機より減少したか
- ・部品加工時、エネルギーをできるだけ使用しない形状になっているか
- ・製造工程で発生する廃棄物の量を最小化するよう、原材料、製法、工程について事前評価しているか など

3 使用段階

- ・消費電力の削減をはかっているか
- ・有害物質の廃棄を最少化または減少させているか など

4 廃棄

- ・商品を解体時、容易なユニット構成となっているか
- ・再資源化、廃棄に際して特別な配慮を要するユニットの分解・分離性は適切か
- ・ユニットの部品は単一材料へ容易に分離分解できるか など

■環境に配慮した商品

- ▶ **電子丸ノコ**
W-570ED W-660ED
資源節約タイプ
(当社従来品より 20%以上軽量)



▲電子丸ノコ W-570ED

〈主な特長〉

- (1) 切り込み深さ(切断幅)向上
- (2) 軽量・コンパクト
- (3) 電子制御の高速回転モーターでスムーズな切断を実現
- (4) 使いやすさ向上

- ▶ **充電式インパクトドライバ**
BID-140

ニカド電池からリチウムイオン電池へ



〈主な特長〉

- (1) ハイパワーにより、作業効率が向上
- (2) 用途に合わせて締付力(トルク)の調節が可能
- (3) LEDライトにより暗い場所でも確実に作業ができる
- (4) 便利な電池残量表示とスライド式着脱の電池パック

■ リョービの印刷機器と環境対応

▶ Eco印刷を実現する B2 サイズオフセット多色印刷機「RYOBI 784E/784EP」

RYOBI 784E/784EP は少ない投資で高品質印刷と B5 サイズの 8 面付け印刷にも対応する汎用性を持ったコストパフォーマンスモデルです。RYOBI 784E/784EP は同じ印刷サイズの 4 色印刷機 RYOBI 754 に比較して約 18% 消費電力を削減でき、省エネルギー設計となっています。また、色合わせ時間を削減するプログラムインキングの

採用など、試し刷り時の用紙、インキなどの印刷資材の使用を最小限に抑え環境に優しい Eco 印刷が行なえます。今年 4 月に英国で開催された国際印刷総合機材展 IPEX2006 では現像処理が不要な版材や、VOC(揮発性有機化合物)の発生が少ないインキを使った Eco 印刷を PR し、大勢の来場者の注目を集めました。



▲ RYOBI 784E



▲ IPEX2006 で Eco 印刷を PR

▶ リョービ全自動刷版交換装置 Full-RPC(NEW)/
リョービ半自動刷版交換装置 Semi-RPC

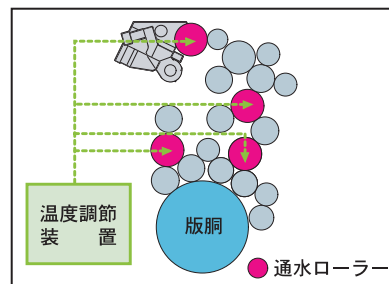
B2 サイズ印刷機 RYOBI 750 シリーズに新開発の全自動刷版交換装置 Full-RPC が加わりました。Full-RPC は給版、排版ともタッチパネルディスプレイのボタン操作だけで、全自動で刷版を交換できるので、オペレーターは刷版交換中に次の仕事の準備作業を並行して行なえます。高い精度の刷版交換作業を支援する自動化装置「リョービ Full-RPC」と「リョービ Semi-RPC」によって、印刷前の見当合わせ作業の損紙を大きく削減しています。



リョービ全自動刷版交換装置 Full-RPC ▶

▶ 環境にやさしい水なし印刷機

水なし印刷は湿し水を使わず印刷する方式なので印刷工場から廃液を激減させ、印刷物の製造工程において「環境負荷が少ない印刷方式」という点で、環境報告書や会社案内に採用されるケースが増えています。環境にやさしいと言われる理由は印刷時における湿し水の中の IPA(イソプロピルアルコール)などの溶剤を使用しないことと、化学薬品を使用しない刷版の現像方式にあります。印刷機では版面やインキローラーの温度を適温にコントロールする、インキローラー温度調節装置が必要です。リョービでは A3 判デジタル印刷機 RYOBI 3404X-DI/3404E-DI が水なし印刷を標準としています。また主力機種 RYOBI 680/750 シリーズでもオプションでインキローラー温度調節装置を取り付けることで水なし印刷への対応が可能です。



▲ インキローラー温度調節装置 (RYOBI 680/750 シリーズ)

■ 2005 年度 事業所別(部会別)環境負荷集計表

No.	事業所 ・部会	産業廃棄物(マニフェストの集計)		エネルギー使用量		CO ₂ 発生量 (年間)	水使用量 (年間)	
		No.	種類(マニフェストの項目で)	重量(年間)	種類			量(年間)
1	本社 ・本社部門部会 ・ダイカスト本部広島部会 ・住建機器本部部会 ・建築用品部会	(1)	廃油・廃液	31,634 ㎏	電 気 油(原油換算)	17,999,960 kwh 3,471,100 ㎏	4,639,541 ㎏ C/年	83,143 ㎡
		(2)	廃プラスチック類	31,530 ㎏				
		(3)	汚泥	115,915 ㎏				
		(4)	ばいじん	18,860 ㎏				
		(5)	ガラス・陶磁器くず	65,145 ㎏				
		(6)	複合鉄	30,310 ㎏				
2	東京 ・東京部会	(1)	廃プラスチック類	7,825 ㎏	電 気 ガ ス	949,968 kwh 9,957 ㎡	122,144 ㎏ C/年	4,305 ㎡
		(2)	金属くず	10,110 ㎏				
		(3)	廃油	2,710 ㎏				
3	大阪 ・大阪部会	(1)	事業系一般ゴミのみ	2,822 ㎏	電 気 油(原油換算)	325,316 kwh 103,952 ㎏	113,295 ㎏ C/年	662 ㎡
4	名古屋 ・名古屋部会	(1)	廃プラスチック類	7,200 ㎏	電 気	259,864 kwh	30,612 ㎏ C/年	954 ㎡
		(2)	金属くず	8,500 ㎏				
5	広島東工場 ・グラフィックシステム本部部会 ・ダイカスト本部広島部会	(1)	汚泥	8,800 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	9,030,768 kwh 197,144 ㎏ 317,500 ㎏	1,484,318 ㎏ C/年	23,606 ㎡
		(2)	廃プラスチック類	27,537 ㎏				
		(3)	廃液	41,996 ㎏				
		(4)	廃油	43,800 ㎏				
		(5)	金属くず	13,457 ㎏				
6	静岡工場 ・ダイカスト本部静岡部会	(1)	汚泥	513,800 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス(LPG) ガ ス(都市ガス)	28,277,537 kwh 5,155,487 ㎏ 507,346 ㎏ 10,260 ㎡	7,497,743 ㎏ C/年	965,400 ㎡
		(2)	廃油	225,700 ㎏				
		(3)	鋳さい	113,340 ㎏				
		(4)	廃プラスチック類	56,355 ㎏				
7	印刷機器工場 ・グラフィックシステム本部部会	(1)	廃油	25,344 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	4,694,204 kwh 103,926 ㎏ 36,015 ㎏	667,013 ㎏ C/年	9,425 ㎡
		(2)	汚泥	34,760 ㎏				
		(3)	金属くず	3,953 ㎏				
		(4)	廃プラスチック類	10,580 ㎏				
8	府中物流センター ・ダイカスト本部広島部会	(1)	汚泥(含浸)	8,030 ㎏	電 気 油(原油換算)	1,615,236 kwh 25,600 ㎏	212,115 ㎏ C/年	7,525 ㎡
		(2)	廃プラスチック類	74,850 ㎏				
		(3)	木くず	92,400 ㎏				
		(4)	紙くず	3,316 ㎏				
9	御調第一物流センター ・建築用品部会	(1)	汚泥	2,320 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	994,608 kwh 160,000 ㎏ 0 ㎏	233,647 ㎏ C/年	15,114 ㎡
		(2)	廃油	19,090 ㎏				
		(3)	廃プラスチック類(焼却)	4,100 ㎏				
10	リョービミラサカ ・リョービミラサカ部会	(1)	廃油	266,810 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	35,480,740 kwh 7,197,744 ㎏ 108,796 ㎏	9,604,995 ㎏ C/年	97,236 ㎡
		(2)	汚泥	87,530 ㎏				
		(3)	廃プラスチック類	93,980 ㎏				
		(4)	鋳さい	30,510 ㎏				
11	リョービミツギ ・リョービミツギ部会	(1)	汚泥	88,500 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	11,535,402 kwh 1,306,000 ㎏ 953,530 ㎏	3,097,412 ㎏ C/年	61,750 ㎡
		(2)	廃プラスチック類	112,960 ㎏				
		(3)	廃油	36,000 ㎏				
12	東京軽合金製作所 ・東京軽合金製作所部会	(1)	鋳さい(シェル砂)	3,748,600 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	4,856,940 kwh 970,105 ㎏ 2,607,793 ㎡	3,409,670 ㎏ C/年	393,054 ㎡
		(2)	廃油	18,550 ㎏				
		(3)	鋳さい	67,360 ㎏				
		(4)	汚泥	122,450 ㎏				
		(5)	廃プラスチック類	140,40 ㎏				
13	生野 ・生野部会	(1)	土砂・ブロック・耐火物	133,800 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	2,609,760 kwh 3,756,370 ㎏ 43,680 ㎏	3,032,238 ㎏ C/年	38,815 ㎡
		(2)	ばいじん	45,690 ㎏				
		(3)	廃プラスチック類	3,590 ㎏				
14	リョービパワーツール ・リョービパワーツール部会	(1)	廃油	40,500 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	3,953,586 kwh 323,065 ㎏ 231 ㎏	705,398 ㎏ C/年	7,831 ㎡
		(2)	廃プラスチック類	32,000 ㎏				
		(3)	汚泥	8,600 ㎏				
15	リョービ開発 ・リョービ開発部会	(1)	事業系一般ゴミのみ	100 ㎏	電 気 油(原油換算) ガ ス	410,507 kwh 64,600 ㎏ 490 ㎏	95,808 ㎏ C/年	33,094 ㎡

2005 年度 事業所別(部会別)化学物質に関するデータ

No.	事業所 ・部会	化学物質 (PRTR 対象物質)							
		No.	化学物質名	年間使用量	内大気へ	内水系へ	内土壌へ	内廃棄物へ	内製品へ
1	本社 ・本社部門部会 ・ダイカスト本部広島部会 ・住建機器本部部会 ・建築用品部会	(1)	キシレン	2,600 kg	2,600 kg	0	0	0	0
		(2)	トルエン	1,400 kg	1,400 kg	0	0	0	0
2	東京 ・東京部会	(1)	ナシ						
3	大阪 ・大阪部会	(1)	ナシ						
4	名古屋 ・名古屋部会	(1)	ナシ						
5	広島東工場 ・グラフィックシステム本部部会 ・ダイカスト本部広島部会	(1)	ナシ						
6	静岡工場 ・ダイカスト本部静岡部会	(1)	ダイオキシン類	110 mg-TEQ	110 mg-TEQ	0	0	0	0
7	印刷機器工場 ・グラフィックシステム本部部会	(1)	トルエン	2,790 kg	2,300 kg	0	0	490 kg	0
		(2)	キシレン	1,780 kg	1,340 kg	0	0	440 kg	0
		(3)	ジクロロメタン	1,200 kg	1,200 kg	0	0	0	0
8	府中物流センター ・ダイカスト本部広島部会	(1)	ジクロロメタン	17,000 kg	17,000 kg	0	0	0	0
9	御調第一物流センター ・建築用品部会	(1)	トルエン	6,900 kg	1,800 kg	0	0	5,100 kg	0
		(2)	ジクロロメタン	3,800 kg	2,400 kg	0	0	1,400 kg	0
		(3)	キシレン	2,300 kg	500 kg	0	0	1,800 kg	0
10	リョービミラサカ ・リョービミラサカ部会	(1)	ナシ						
11	リョービミツギ ・リョービミツギ部会	(1)	ナシ						
12	東京軽合金製作所 ・東京軽合金製作所部会	(1)	ナシ						
13	生野 ・生野部会	(1)	ダイオキシン類	45 mg-TEQ	45 mg-TEQ	0	0	0	0
14	リョービパワーツール ・リョービパワーツール部会	(1)	ナシ						
15	リョービ開発 ・リョービ開発部会	(1)	ナシ						

部会別関係法令等一覧表

部会名	本社部門部会	ダイカスト本部広島部会	ダイカスト本部静岡部会	グラフィックシステム本部部会	住建機器本部部会	建築用品部会	東京部会	大阪部会	名古屋部会	リョービミラサカ部会	リョービミツギ部会	東京軽合金製作所部会	生野部会	リョービパワーツール部会	リョービ開発部会
水質汚濁防止法	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○
瀬戸内海環境保全特別法	○	○			○	○				○			○	○	
下水道法		○		○		○	○	○	○		○				
騒音規制法		○	○	○		○				○	○	○	○	○	
振動規制法		○	○	○		○				○	○	○	○	○	
大気汚染防止法	○	○	○	○		○				○	○	○	○		
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	○	○	○	○		○				○		○	○		
廃掃法	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
工場立地法	○	○	○	○		○				○	○	○	○	○	
浄化槽法	○	○	○	○						○		○	○	○	
省エネ法	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○		
消防法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法		○	○	○		○				○	○	○	○		○
化審法															○
リサイクル法					○		○		○					○	
容器包装リサイクル法					○	○			○						
ダイオキシン類対策特別措置法			○										○		
高圧ガス保安法		○		○						○	○	○	○		
農薬取締り法															○
PRTR 法		○	○	○		○					○	○			○
都道府県条例、各市町村条例	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
土壌汚染対策法	○	○	○	○	○	○				○	○	○		○	
PCB 廃棄物特別措置法	○	○	○							○	○			○	
フロン回収破壊法	○	○	○		○	○				○		○	○	○	○
建設リサイクル法	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	
地域協定		○		○		○			○	○		○	○		○

環境負荷データ 環境に関する法規制等遵守の状況



2005 年度 部会別監査不適合の状況

外部環境監査結果に関するまとめ

リョービグループの ISO 14001 認証審査はロイドレジスター(LRQA)にお願いしています。その結果は以下のとおりです。

1) 2005 年 6 月 (2004 年度版移行審査)

グレード「I」	サーベイランス	
	件数	部会別件数
0 件		
グレード「O」	25 件	本社部門部会 5 件 ダイカスト本部広島部会 11 件 グラフィック システム本部部会 6 件 事務局 3 件

グレード「N」: Non-Conformity
(未承諾)
グレード「I」: Improvement
(改善・改良)
グレード「O」: Observation
(観察)

2) 2005 年 11 月

グレード「Minor NC」	サーベイランス	
	件数	部会別件数
6 件	東京軽合金製作所部会 2 件 東京部会 4 件	
グレード「RC」	13 件	東京軽合金製作所部会 9 件 東京部会 3 件 事務局 1 件

グレード「Major NC」: Major Non-Conformity (重大な不適合)
グレード「Minor NC」: Minor Non-Conformity (軽微な不適合)
グレード「RC」: Requires for Correction (要修正)
グレード「SFI」: Scope for Improvement (改善提言)



外部監査

内部環境監査結果に関するまとめ

部会名	本社部門部会	ダイカスト本部広島部会	ダイカスト本部静岡部会	グラフィックシステム本部部会	住建機器本部部会	建築用品部会	東京部会	大阪部会	名古屋部会	リョービミラサカ部会	リョービミツギ部会	東京軽合金製作所部会	生野部会	リョービパワーツール部会	リョービ開発部会	合 計	
																	実施月
不適合件数	6月	6	4	5	1	1	1	0	0	0	5	2	5	2	5	0	37
	9月	3	1	8	2	0	2	2	0	7	11	5	17	2	2	0	62
	2月	4	1	5	3	0	1	0	0	1	6	4	21	1	7	0	54

2005 年度 部会別社会貢献活動内容一覧

No.	事業所・部会	社会貢献活動の内容	年間回数	延参加者数	備考
1	本社 ・本社部門部会 ・ダイカスト本部広島部会 ・住建機器本部部会 ・建築用品部会	(1) アルミ缶回収運動、収益金の寄付 (2) 芦田川クリーン作戦 (3) 献血	24 回 1 回 4 回	831 人 284 人	収益 774,179 円
2	東京 ・東京部会	(1) 使用済み切手、カードを回収し区役所、社会福祉法人に寄付	1 回		5,091 枚
3	大阪 ・大阪部会	(1) 支店前歩道の草取り、清掃	1 回	10 人	
4	名古屋 ・名古屋部会	(1) 会社周辺道路の清掃 (2) 献血	6 回 1 回	150 人 10 人	
5	広島東工場 ・グラフィックシステム本部部会 ・ダイカスト本部広島部会	(1) 本社に含む			
6	静岡工場 ・ダイカスト本部静岡部会	(1) 工場及び国道 1 号線バイパス周辺の清掃活動 (2) 献血 (3) アルミ缶回収運動	12 回 2 回 随時	2,041 人 72 人	収益 5,800 円
7	印刷機器工場 ・グラフィックシステム本部部会	(1) 本社に含む			
8	府中物流センター ・ダイカスト本部広島部会	(1) 本社に含む			
9	御調第一物流センター ・建築用品部会	(1) 本社に含む			
10	リョービミラサカ ・リョービミラサカ部会	(1) アルミ缶回収運動、収益金の寄付 (2) 県道クリーン作戦 (3) 献血	随時 2 回 2 回	220 人 60 人	収益 379,499 円
11	リョービミツギ ・リョービミツギ部会	(1) アルミ缶回収運動、収益金の寄付 (2) クリーン作戦(会社周辺清掃)	12 回 2 回	120 人	収益 105,500 円
12	東京軽合金製作所 ・東京軽合金製作所部会	(1) アルミ缶回収運動、収益金の寄付 (2) 会社周辺空き缶、ゴミひろい (3) 献血	12 回 " 2 回	180 人 48 人	収益 108,200 円
13	生野 ・生野部会	(1) アルミ缶回収運動、収益金の寄付	17 回	180 人	収益 190,707 円
14	リョービパワーツール ・リョービパワーツール部会	(1) 会社周辺道路の清掃、草取り	2 回	50 人	
15	リョービ開発 ・リョービ開発部会	(1) 進入路近辺の公道清掃 (2) 市道沿い排水溝の掃除	3 回 9 回	32 人 20 人	

社会貢献活動の紹介

1. アルミ缶回収運動

リョービとアルミニウムは深い関係があります。そのアルミニウムのリサイクル性に注目して本社近辺の事業所では、社員が2回/月、自宅などからアルミ缶を持ち寄り回収し、アルミ再生業者に販売してその収益金をNPO法人リョービ社会貢献基金へ寄付をしています。

また、同じような活動は他の事業所でも行っております。

2. 芦田川クリーン作戦・事業所周辺の道路清掃

本社近辺の事業所では、全社員に呼びかけて毎年11月の第1日曜日の早朝、本社近辺を流れる「芦田川」、5.5kmの両岸の土手、河川敷の空き缶、ゴミ拾いを行っています。この活動は1990年にリョービ環境保全委員会が発足して以来毎年継続して実施しており、2005年11月で16回目を数えています。最近では家族の参加も目立っています。

また、他の事業所でも周辺の道路清掃などを定期的に行っています。

3. 献血

日本赤十字社からの依頼で社員に呼びかけをし、事業所構内で献血車による献血を積極的に行っています。



▲アルミ缶回収運動



▲第16回 芦田川クリーン作戦

NPO 法人 リョービ社会貢献基金の事業活動

2005 年度の物品寄贈報告

NPO 法人リョービ社会貢献基金では、社会貢献活動の一環として、事業所所在地の社会福祉施設などに物品の寄贈を行いました。

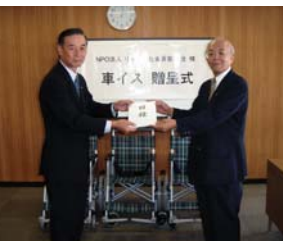
寄贈先	物	品
広島県 三次市社協	マッサージチェア	2台
東京都 北区役所(豊島保育所)	液晶テレビ	
兵庫県 朝来市社協	スカットボール、デッキ輪投げ	
愛知県 天白区社協	車いす 4台、点字器 40個、折りたたみ白杖 4本	
広島県 尾道市社協	車いす	4台
大阪府 高槻市社協	車いす	3台
埼玉県 行田市社協	車いす	15台
広島県 府中市社協	軽自動車(ホームヘルパー活動用)	
広島県 世羅町社協	介護・リハビリ用品(ペダル式トレーナー等)	
広島県 庄原市社協	ワンタッチイベントテント一式、丸椅子	16脚
静岡県 静岡市社協	発電機(災害対策用)	



▲府中市社協へ軽自動車を寄贈



▲尾道市社協へ車椅子を寄贈



▲高槻市社協へ車椅子を寄贈

ボランティア等活動資金助成について

設立以来、社会福祉協議会を通じた物品の寄贈事業やボランティアの派遣等を行ってまいりましたが、2005年度より、少しでも豊かな社会の実現のお役に立てればと、「ボランティア等活動資金助成」と名付けて、常日頃からボランティア活動や非営利活動をしている団体・グループの方に対し、活動資金の助成事業を開始することとしました。

資金助成先	所属人員	設立年	助成額	用途
広島県府中市 府中市要約筆記サークル「伝書鳩」	21	1990年	200,000円	パソコンなど機器購入、スキルアップのための研修費
広島県府中市 朗読録音グループ「カナリヤ」	30	1977年	100,000円	パソコン録音のスキルアップのための研修費
静岡県静岡市 図書館ボランティア「さくらんぼ」	15	1991年	50,000円	講演会の講師料など
静岡県静岡市 波の子会	17	1982年	50,000円	プロジェクターの購入など
広島県尾道市 おはなしの里みつぎ	9	2000年	50,000円	大型絵本などの購入
埼玉県行田市 行田朗読の会	19	1980年	100,000円	カセットデッキなどの機器購入

※障害者支援、子供への読み聞かせなど、技術を身につけ活動しているボランティアグループを優先。

グラフィック システム本部部会の紹介

リョービ株式会社広島東工場 印刷機器新工場棟(第2工場)

昨今の中型印刷機の需要拡大に対応するため、印刷機器の新工場棟(第2工場)を広島東工場の敷地内に建設しました。2006年4月に竣工式を終え、現在、本格稼働しています。新工場棟の延べ床面積は約10,100㎡、2階建てで1階が組立て検収・自動塗装、2階が部分組立てと組立て用部品倉庫を備えています。これによって広島東工場の

印刷機器工場棟は延べ床面積が約20,000㎡となり、約60%の生産能力の拡大を実現しています。また新工場棟の増設に伴い、中型印刷機のシリンダー加工ラインを広島東工場に集約化させ、さらに全自動の新型のマシニングセンターなどの加工設備を増設することで、リードタイムの短縮を図っています。



▲グラフィックシステム第2工場(手前)



環境対応の自動塗装ラインを導入

印刷機のカバーやステップ台などを塗装する塗装ラインは、表面処理から塗装、さらに乾燥までを全自動で行なえるラインとなっており、生産効率の向上と省人化を図っています。また、錆に強い粉体塗装処理を採用しています。塗装工程で従来廃棄処理していた余分な粉体塗料を約95%~98%回収し再利用しているとともに、塗装前の処理液を浄化し、きれいな水に戻して廃水するなど、環境対策にも十分配慮しています。



▲自動塗装ライン

余分な粉体塗料の約95%~98%を回収、リサイクルが可能

▲塗装前処理液の浄化装置



■ コミュニケーションについて

1. HP 紹介

リョービ株式会社及び国内グループ会社では、HP で情報を公開しています。是非みなさんも HP をご覧ください。

- リョービ株式会社 <http://www.ryobi-group.co.jp/>
- リョービマジクス株式会社 <http://www.ryobi-group.co.jp/imagix/>
- リョービ販売株式会社 <http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>
- 株式会社東京軽合金製作所 <http://www.ryobi-group.co.jp/tk/>
- リョービ開発株式会社 <http://www.shobaracc.com/>



2. 地域との公害防止協定に基づく協議会

事業所所在地の行政、近隣などと地域協定(公害防止協定)を締結している事業所(21 ページ表の最下段参照)においては、協定に基づき定期的に工場排水の水質検査結果、煤塵測定の結果、騒音測定の結果などの報告書を提出したり、協議の場をもつなどコミュニケーションに努めています。

その結果、各事業所とも近隣などと「良い関係」が維持されています。

3. 外部からの情報公開要求、苦情等

事業所所在地における外部からの情報公開要求は 2005 年度はありませんでした。

外部からの苦情等は 4 件があり(内 2 件はトラックからの燃料漏れ)、下記 2 件はいずれも対策を講じました。

生野部会

'05.4.24

始業・終業サイレンが休日(日曜日)に鳴り続けた(8:30~9:30)。近隣より役場へ通報あり。役場からの連絡により対応停止させた。翌日、近隣を訪問し謝罪した。役場との公害委員会(7月)で、原因・対策等説明した。警備会社との契約および緊急時の連絡網を見直し、訓練をした。また、サイレンのカレンダー設定を確実にする為の手順の改善を実施した。

リョービパワーツール部会

'05.10.10

リョービパワーツール(目崎工場)の隣接した田んぼの地主さんより通報。生活排水処理設備の沈殿槽から曝気槽へ戻す配管よりエアと汚水が噴出し汚水が田んぼの稲にかかり一部が変色した。即時設備停止し、応急措置をした。摩耗と腐食により破損した管を耐久性のある配管に交換した。

■ コンプライアンス

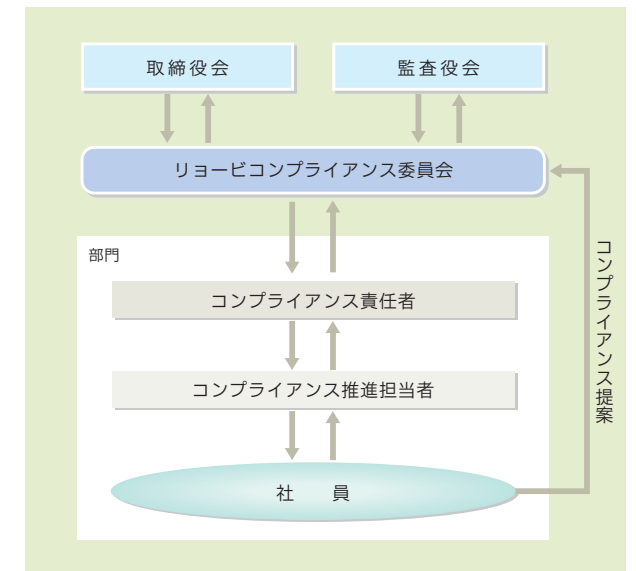
リョービは、単に公正な競争を通じて利潤を追求するだけでなく、広く社会から有用な存在として信頼される企業となることをめざします。そのため、コンプライアンスを重要な課題の1つとして取り組み、リョービコンプライアンス委員会を中心とする推進体制の確立や、リョービ企業行動憲章による企業倫理の徹底を図っています。

コンプライアンス推進への取り組み

2003年にリョービコンプライアンス委員会を設置し、グループ全体でコンプライアンス推進への取り組みを始めました。企業倫理の徹底をはかるために「リョービ企業行動憲章」と「リョービ自主行動規準」を制定し、社長(現会長)のメッセージとともに国内リョービグループの全社員に配布しました。

また、コンプライアンスに反する行為や事態に対する会社の自主的な是正・改善機能の強化をはかり、コンプライアンスに関する問題や提案について社員の声を聴く窓口として「コンプライアンス提案窓口」を設置しました。

〈推進体制〉



■ リョービ企業行動憲章

リョービ企業行動憲章は、企業倫理意識の高揚をはかるために遵守すべき行動指針を定めています。当社は企業理念である「健全で活力にみちた企業」の実現のため、全ての法律、国際ルール及びその精神を遵守するとともに

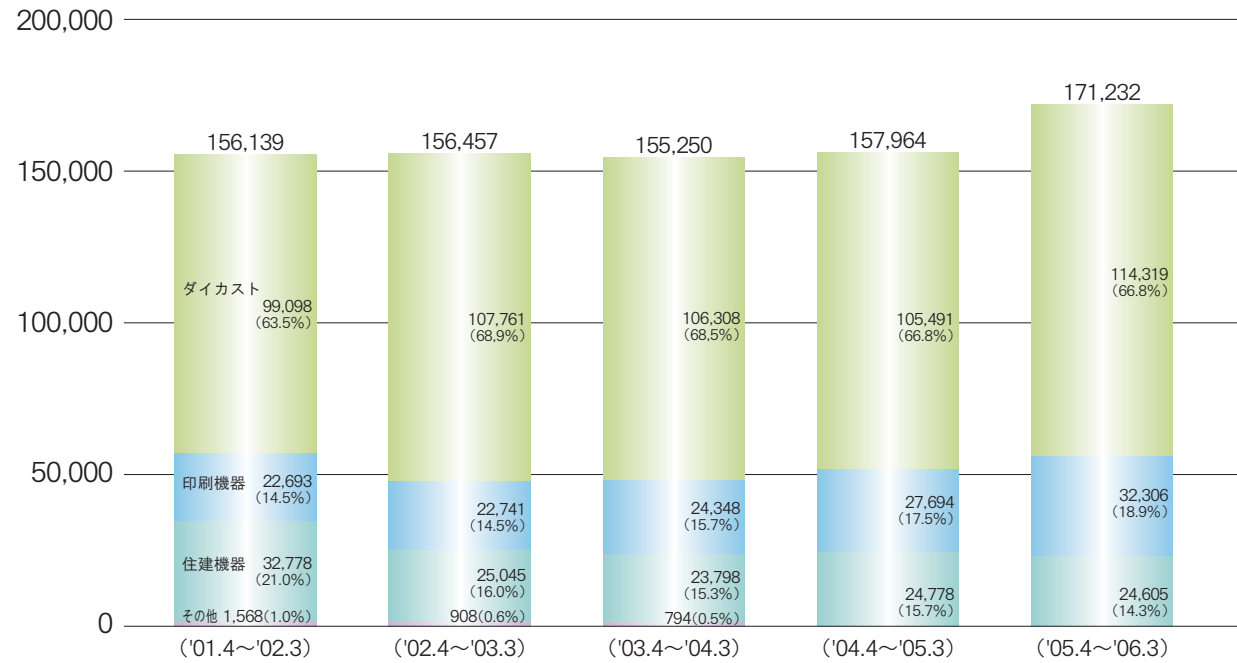
に社会的良識をもって行動し、単に公正な競争を通じて利潤を追求する経済主体であるだけでなく、広く社会から有用な存在として信頼される企業となることをめざします。

- 1 有用な商品・サービスを安全性に十分配慮して開発、提供し、消費者・ユーザーの信頼を獲得します。
- 2 公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を維持します。
- 3 ステークホルダーはもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、情報を積極的かつ公正に開示します。
- 4 環境問題への取り組みが企業存続の必須の要件であることを認識し、地球環境の保全に積極的に取り組みます。
- 5 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- 6 社員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、社員の人格と個性を尊重して創意と活力に満ちた職場風土を醸成します。
- 7 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは断固として対決します。
- 8 海外の活動においては、その文化や習慣を尊重し、現地の発展に貢献する経営を行います。
- 9 当社の経営層は、社会の負託に応えるため、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、関係者への周知徹底と社内体制の整備を行います。
- 10 当社の経営層は、本憲章の精神に反するような事態が発生したときは、自らの責任において問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会へ迅速かつ的確な情報開示を行うとともに、責任を明確にした上、厳正な処分を行います。

決算状況

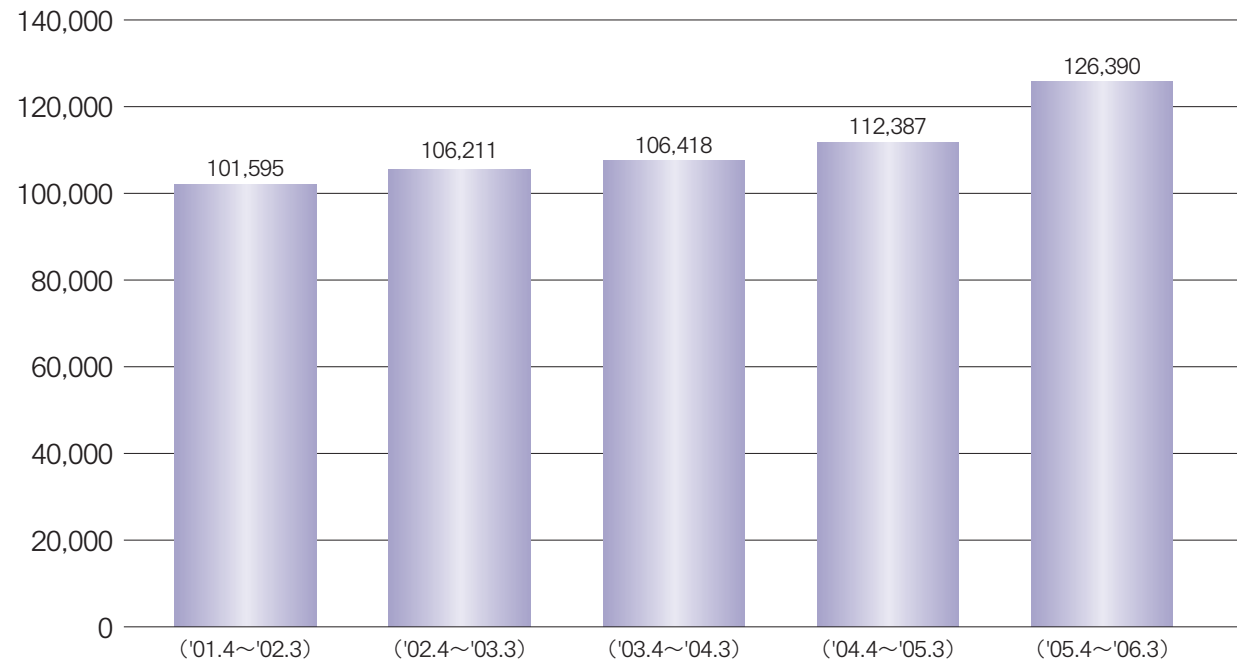
■ 連結売上高推移

売上高（単位：百万円 カッコ内：構成比）



■ 単独売上高推移

売上高（単位：百万円）



環境報告書 2006 編集後記

4 回目の環境報告書として「リョービグループ環境報告書 2006」を発行しました。

前回までと同様「リョービグループ」ということで、ISO 14001 をリョービ株式会社と一緒に一括で認証取得している「国内グループ会社 10 社」を含めたものにしました。

ご高覧いただくとともに、よりよい環境報告書にしたいと思いますので忌憚のないご意見をお願いいたします。

ご意見は、本紙綴じ込みの「アンケート用紙」に記入の上 FAX または、当社ホームページ上から回答いただければ幸いです。また、お問い合わせなども下記の電話、FAX、e-mail アドレスをご利用ください。

TEL 0847-41-1153
 FAX 0847-43-6111
 e-mail kankyo@ryobi-group.co.jp

会社概要	■ 創立年月日	1943 年 12 月 16 日
	■ 代表者	代表取締役社長 吉川 進
	■ 社員数	リョービ / 1,982 名 グループ会社 / 3,646 名 計 / 5,628 名
	■ 資本金	18,472 百万円

※社員数、資本金は 2006 年 3 月 31 日現在

RYOBI

リョービ株式会社

(問い合わせ先)

〒726-8628 広島県府中市目崎町762
TEL 0847(41)1111
FAX 0847(43)6111

- 発行/2006年9月
- 次回発行/2007年6月予定

本資料はリョービホームページにも掲載しています。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



ISO 14001 認証取得



古紙100%の再生紙を使用しています。



本環境報告書の印刷用紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。印刷インキには石油系溶剤の使用量を減らした「大豆インキ」を使用することにより、VOC(揮発性有機化合物)の大気排出をセーブし、地球環境の保全に貢献しています。印刷は、アルカリ性現像液やイソプロピルアルコールなどを含む湿し水が不要な、水なし平版印刷方式を採用した、RYOBI 3404DI で印刷しています。なお、この環境報告書はリョービ書体で制作しています。